

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	楽器演奏	単位数	2	学年	3	コース	健康スポーツ 教養フロンティア
								必修・選択	選択 (1群)
使用教材	教科書	(学校設定科目)							
	副教材	○演奏する楽器は各自で設定 ※学校で保有していない楽器を設定する場合、各自が準備することになります。 ○演奏する楽譜は各自で準備 ※中間・期末発表会の際には、演奏する楽譜の写しを提出することになります。							

学習目標

- 音楽・幼児教育・保育・福祉系等の進路希望者は、必要とされる音楽実技の技量を把握して、受験および入学後に備える。
- 進路と楽器演奏が関係ない場合は、生涯の趣味・特技として楽器を愛好する心情を育て、人前で楽器演奏の披露ができる程度の技術を身につける。

学習方法

- 考查間を目標に授業内発表会を5回行います。
- 各期間毎に、各自で演奏する「楽器」と「課題(曲目)」を設定して練習を重ね、発表会で演奏をします。
- 練習時の「取り組み状況」と当日の「発表内容」により評価します。
- 実技を伴う評価の際には、「録音 または 録画」を行いますので予めご了承ください。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめりと下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	○授業日程を把握し、計画的に課題に取り組む姿勢があるか。 ○積極的に授業に参加できているか。 ○必要とされる知識を自ら調べ、整理しようとする意欲があるか。
②思考・判断・表現	○作曲者や編曲者の意図について理解し、演奏に反映しようとしているか。 ○楽譜に書き込まれた情報を正確に読み取り、的確に表現できているか。 ○ファイルを用いて授業資料や楽譜を順番に整理できているか。
③技能	○正しい演奏姿勢、運指で楽器の演奏に臨んでいるか。 ○楽譜に忠実で、丁寧な演奏を心掛けているか。 ○ただ単に音を並べるだけでなく、表現力豊かな演奏ができるか。(実技を伴う評価は、録音・録画を行います)
④知識・理解	○題材の作曲者や、作品の背景について理解できているか。 ○楽譜に書き込まれた情報を正確に読み取ることができているか。 ○施設・楽器・演奏補助具等の使用法やマナーについて理解し、大切に使用できているか。(片付けも含む)

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
出席状況	◎				
課題楽譜の準備・提出	◎	◎			
課題の達成度		◎	◎	◎	
実技	◎	◎	◎	◎	発表会 および VTR録画

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです
 ※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

- 「音楽」は「音を楽しむ」と表記しますが、授業という「学びの場」では「音学」になります。楽しいハズの「音楽」が「音学」になれば、必然的に「音が苦(手)」になってしまいます。学び、苦しみ、それが克服できると「本当の楽しみ方」が分かってくるのだと思います。
- 授業に欠席しないこと。実技科目は積み上げ学習ですから、欠席すると分からなくなります。
- 授業時のNGワードは「こんなの無理!」。最後まで諦めないで腰を据えて取り組むこと。
- 芸術科目は「失敗」を重ねることにより上達します。「失敗」を恐れずに頑張りましょう。

年間学習計画

学期	学習内容[時間数]	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期	<p>○オリエンテーション [1 h]</p> <p>○各自設定課題「Ⅰ」 [13 h]</p> <p>○各自設定課題「Ⅱ」 [13 h]</p>	<p>○音楽・幼児教育・保育・福祉系等の進路希望者は、必要とされる音楽実技の技量を把握して、受験および入学後に備える。</p> <p>○進路と楽器演奏が関係ない場合は、生涯の趣味・特技として楽器を愛好する心情を育て、人前で楽器演奏の披露ができる程度の技術を身につける。</p>	<p>・本シラバスの読み合わせ～周知徹底</p> <p>・年間の授業計画</p> <p>・完全個別対応</p> <p>・進路に関係のある場合は過去の課題を研究して、それに対応した課題設定をすること。</p> <p>・進路には関係ない場合は、この授業で何の楽器をどの程度究めたいのかで課題を設定すること。</p> <p>・発表会では高校生の発表会として恥ずかしくない演奏を披露できること。</p>
2 学期	<p>○各自設定課題「Ⅲ」 [13 h]</p> <p>○各自設定課題「Ⅳ」 [13 h]</p>	<p>○音楽・幼児教育・保育・福祉系等の進路希望者は、必要とされる音楽実技の技量を把握して、受験および入学後に備える。</p> <p>○進路と楽器演奏が関係ない場合は、生涯の趣味・特技として楽器を愛好する心情を育て、人前で楽器演奏の披露ができる程度の技術を身につける。</p>	<p>・同上</p> <p>※進路に関係のある場合、当年度課題が発表された段階で、それに対応した課題設定をすること。</p>
3 学期	<p>○各自設定課題「Ⅴ」 [17 h]</p>	<p>○音楽・幼児教育・保育・福祉系等の進路希望者は、必要とされる音楽実技の技量を把握して、受験および入学後に備える。</p> <p>○進路と楽器演奏が関係ない場合は、生涯の趣味・特技として楽器を愛好する心情を育て、人前で楽器演奏の披露ができる程度の技術を身につける。</p>	<p>・同上</p> <p>※進路に関係のある場合、当年度課題が発表された段階で、それに対応した課題設定をすること。</p>